

近畿学校保健学会通信

No.57

昭和 62 年 5 月 25 日 発行
近畿学校保健学会事務所
〒640 和歌山市九番丁九
和歌山県立医科大学衛生学教室内
TEL 0734-31-2151(内線324)
振替口座 大阪4-107021番

第34回 近畿学校保健学会案内

(下記のように、学会を開催します。関心のある方は、どなたでも参加できます)

主催 近畿学校保健学会 協賛 和歌山県医師会
後援 和歌山県教育委員会 和歌山県歯科医師会
和歌山市教育委員会 和歌山県薬剤師会

会 長 松 岡 勇 二 (和歌山大学 教授)
事務局 長 中 俊 博 (和歌山大学助教授)
事務局次長 加 藤 弘 (和歌山大学助教授)

〒640 和歌山市栄谷930
和歌山大学教育学部保健体育教室内
第34回近畿学校保健学会事務局
T E L (0734) 54-0361
郵便振替 大阪5-97830
銀行口座 紀陽銀行(松江支店)普通523708

日 時 昭和62年 6 月20日(土) 9:00~17:00

会 場 和歌山大学教育学部 (次頁図参照)
和歌山市栄谷930

日 程

9:00	9:30	12:20	12:30	13:20	13:30	14:00	14:50	15:00	16:50	17:00	18:30
受	一般講演		(昼食)		総 会	特別講演		シンポジウム		懇 親 会	
付	第1会場		評議員会		G-101教室	G-101教室		G-101教室		大学会館	
	第2会場		大学会館							食 堂	
	第3会場		2階大集会室								

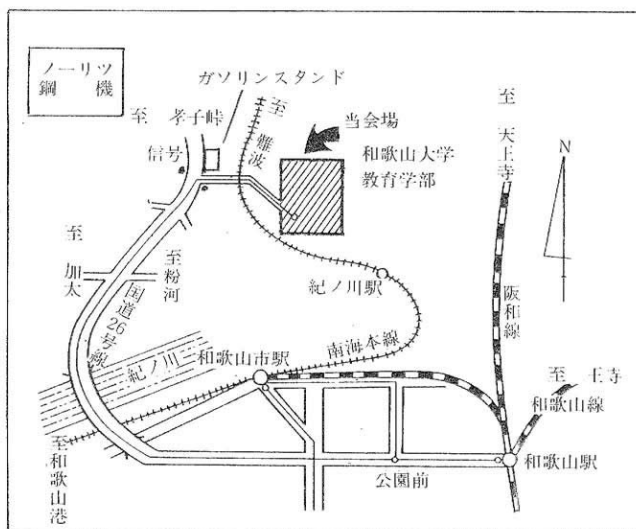
会 費 正 会 員：年会費 3,000円 (ただし既納者は不要)
当日会員：参加費として 2,000円 (資料代を含む)
評 議 員：評議員会場にて昼食を用意致しますので代金 1,000円を頂きます。
懇親会費：3,000円

＜学会場への交通のご案内＞

和歌山大学教育学部

（和歌山市栄谷930番地）

- 南海和歌山市駅から和歌山バス（約25分 280円）にて「和歌山大学」下車
- 南海和歌山市駅から和歌山大学マイクロバス（24人乗り）を下記時刻に運行
- タクシーは、南海和歌山市駅前より、中型で1,500円位、小型で1,200円位、所要時間約20分



○南海本線、路線バス、マイクロバス時刻表

南海本線なんば発 （特急・急行のみ）	南海 和歌山市駅着	和歌山市駅発 （4番のりば） 大学行路線バス	和歌山市駅発 大学行マイクロバス
7:22	8:23	8:30	
7:48	8:50		
8:00	8:55		9:00
8:10	9:13		
8:24	9:29		9:30
8:39	9:45		9:50
8:58	10:02		
9:10	10:04	10:10	

運営についてのご連絡

○参加者へ

1. 会 費

- (1) 会費既納者……一般会員受付で府県名、氏名をお申し出いただき名札をお受け取り下さい。
- (2) 会費未納者……一般会員受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属等を御記入のうえ、会費3,000円をお納め下さい。
2. 当日会員……当日会員受付で記入票を受けとり、氏名、住所、所属等を御記入のうえ、参加費として2,000円をお納め下さい。

3. その他

- (1) 名札に所属、氏名を御記入いただき、会場内では必ず着用して下さい。
- (2) 昼食券は販売いたしません、校内食堂をご利用下さい。
- (3) 懇親会のお申し込み(3,000円)を受け付けておりますのでお問い合わせの上御参加下さい。
- (4) 評議員会ご出席の方は会費(昼食代) 1,000円を別途受付けにてお支払の上引換券をお受けとり下さい。
- (5) 駐車場は470台位(学生用並びに職員用)可能ですのでご利用下さい。

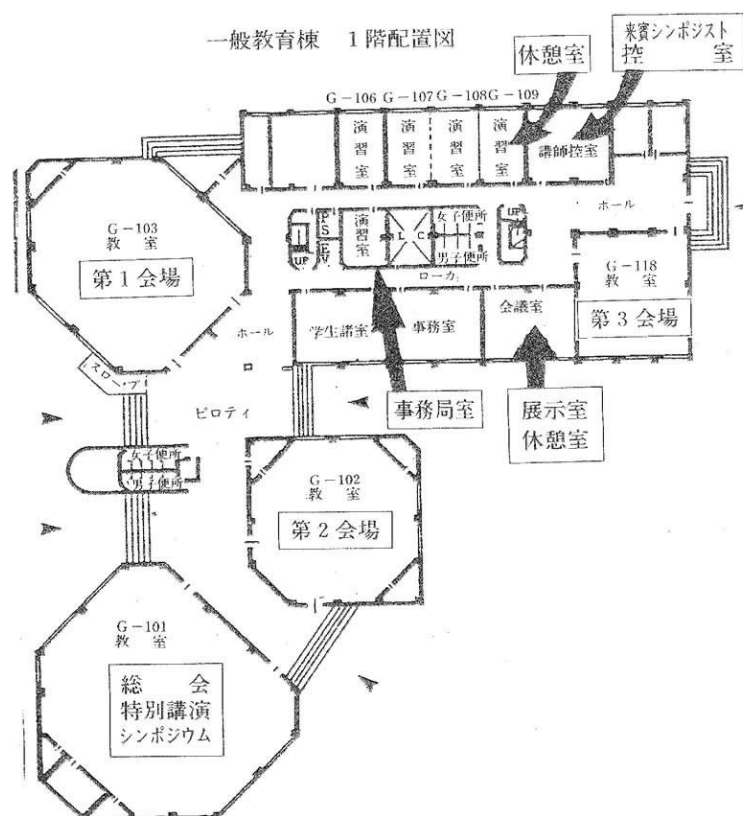
○発表者へ

1. 前演者の口演が始まると同時に、各会場前方の次演者席に必ず着席して下さい。
2. 発表時間は8分間討論時間は5分以内です。時間の厳守をお願いします。(7分でベルを1回、8分で2回鳴らします。)
3. 各会場とも、発表は講演予稿集を用い、スライドは使用できません。配布資料のある場合は、発表の少なくとも30分前までには各会場受付に提出して下さい。
(配布資料は約100部御用意下さい。)

○座長へ

1. 前座長の登壇後直ちに各会場前方の次座長席にご着席下さい。
2. 受け持ち時間内の進行は座長に御一任しますが、1題あたり13分以内で進行されますようお願いします。

○会場見取図



第34回近畿学校保健学会プログラム

一般講演（講演8分、討議5分）一午前の部一

第1会場（G-103教室）

（9:30～10:09）

101. 神経症的不安の強い一登校拒否児の
心理療法
102. 病弱・虚弱児教育について
堺市病弱・虚弱児学級を中心として
103. 生徒における愁訴の本態とその背景

座長 竹内 宏一（奈良教育大）

- 衣斐哲臣（国保日高総合病院神経科）
- 山本勝朗（北条病院）
- 小西由美子（堺市立百舌鳥養護学校）
- 瀬戸 進（大谷大）、川畑愛義、松原ヒサエ
（日本生活医研）、吉村磯次郎（京都女子大）、
日比野朔郎（京都府大）、高井孝之（京都大計算
センター）

（10:09～10:48）

104. 思春期前期における自立への働きか
け
105. 登校拒否の患者一対照研究による中
学生用簡易健康調査質問紙票の検討
106. 異なる教育環境下での思春期生徒の
心身の適応状態についての一考察

座長 日比野 朔郎（京都府大）

- 五十嵐裕子（神戸大教育附属明石中）
- 友久久雄（京都教育大）
- 森 忠繁（滋賀医大保健管理）
- 林 正（滋賀大教育）
- 笹川万里子（関西医大精神神経科）
- 原田潤自（洛陽工業高校）
- 小林豊生（京都府立医大精神科）
- 金井秀子（京都教育大学保健）

（10:48～11:27）

107. 学校医の職務執行をめぐる
一校長と学校医の意識についての比
較一
108. 学校保健活動の活性化をめざして
一地域に即した対応の模索一
109. インフルエンザ流行期における「か
ぎっ子」の欠席状況

座長 山本 公弘（奈良女子大）

- 松本健治、黒田基嗣、栗山佳朗、武田真太郎（和歌
山医大衛生）、虎谷良雄（和歌山県医師会学校医
会）、島 新一、稲田武彦（和歌山市学校医部会）
- 竹田斌郎（奈良市学校保健会・学校医部会）
- 馬場春代（奈良市学校保健会・養護教諭部会）
- 竹田斌郎、板野龍光（奈良市学校保健会・学校
医部会）

（11:27～11:53）

110. 救急事例の検討
一救急車に同乗して一
111. 奈良市における学校災害
一「医療給付申請書」からみた最近
5ヶ年間の傾向一

座長 橘 重美（神戸学院大）

- 竹内宏一、鎮西良太、高橋裕子（奈良教育大）
- 恒岡宗司（奈良市学校保健会・保健主事部会）
- 竹田斌郎（奈良市学校保健会・学校医部会）
- 山本公弘（奈良女子大）

(11:53~12:19)

112. 学校集団検尿の教育活動としての考察
113. 大学入学者選抜資料となる調査書「健康の状況」欄記載方法をめぐる疑問点について

座長 金井秀子(京都教育大)

明瀬好子(神戸市立布引中)

猪尾和弘、宮西照夫、永原ヨシ子
(和歌山大保健管理センター)

第2会場 (G-102教室)

(9:30~10:09)

201. 女子クラブ生活者の一年間にわたる健康観察
202. 姿勢教育を入口とした“健康づくり”の試み
203. 健康観の育成とセルフケアを目的とした学校の保健室における『操体』の導入とその応用

座長 矢田俊作(和歌山・楠見東小)

○水口晴雄、加藤 弘(和歌山大教育)

○浅井節子(和歌山県立田辺商業高校)
北村翰男、竹田斌郎(奈良市学校保健会姿勢研究グループ)

○後藤トシ子(奈良県西の京養護学校)
浅井節子(和歌山県立田辺商業高校)
浅山桜子(奈良教育大附属中)
竹田斌郎(奈良市学校医師会)
北村翰男(奈良市学校保健会姿勢研究グループ)

(10:09~10:48)

204. 体育館における照度検査結果の視覚的イメージ表現
205. 環境温上昇下の体温調節反応における児童と成人の比較
206. 運動部員(柔道部)の腹部超音波像—とくに、肝エコーグラムからみたいわゆる脂肪肝判定の試みについて—

座長 上延 富久治(大阪教育大)

○北村翰男(奈良市薬副師会)

○鋤崎澄夫、荒木 勉(兵庫教育大生活健康系)

○渡辺完児、三村寛一(大阪教育大体育生理)
朝井 均(大阪教育大保健管理センター)、西村
民生(修成建設専門学校)、辰本頼弘(関西女子
短大) 岸本光子(聖徳学園社会体育専門学校)

(10:48~11:27)

207. からだの自己観察(Watch Your Body)を保健教育に活用する試み(その2)—中学校の保健授業への応用—
208. 保健科教育にみる教科内容の現代化についての検討
209. 保健教育の履習内容に関する検討

座長 後藤 英二(大阪教育大)

○竹内宏一、高橋裕子(奈良教育大)

植田誠治(神戸学院大)

○林 正(滋賀大教育)、森 忠繁(滋賀医大)

(11:27~11:53)

210. 児童の健康生活に関する研究 (1)
211. 健康に関する中学生の認識—主として生活行動の動機からの検討—

座長 美崎 教正(神戸大)

○岩井浩一、吉田浩重、大山良徳、山下秋二
坂東隆男、若吉浩二(大阪大健康体育)

○柏野英昭、鋤崎澄夫、荒木 勉(兵庫教育大生活健康系)

(11:53~12:19)

212. 幼児の運動能力テスト

213. 妊娠動物に対する運動負荷が仔の生後における行動と学習の発達に与える影響について

第3会場 (G-118教室)

(9:30~10:09)

301. 児童・生徒・学生の最高可聴閾と調節力の年齢変化

302. 下肢長の発育曲線の検討
—女子の場合—

303. 高校生における脚筋力の発達に関する研究

(10:09~10:48)

304. パソコンを利用した児童生徒の体格に関する保健資料の発行

305. パソコンを利用した保健室からの卒業記念シートの発行

306. パソコンを利用した体格と血圧・推移に関する教職員向通知票の発行

(10:48~11:27)

307. 日本語ワープロ「文豪15D」による四則データの表計算処理について

308. 医食同元の思想と実践

座長 森 忠 繁 (滋賀医大)

- 岸本光子 (聖徳学園社会体育専門学校)、三村寛一、渡辺完児、伊藤俊彦、上林久雄 (大阪教育大体育生理)、辰本頼弘 (関西女子短大)、西村民生 (修成建設専門学校)、朝井 均 (大阪教育大保健管理センター)
- 美馬 信 (大阪女子短大)、塩田浩平 (京大医)、萱村俊哉 (大阪市大児童保健)、上延富久治 (大阪教育大保健学)

座長 林 正 (滋賀大)

- 森岡郁晴、西村 弘、吉田義昭、山本耕平、松本健治、武田真太郎 (和歌山医大衛生)、白石龍生 (大阪教育大)、横尾能範 (神戸大教育)、竹内宏一 (奈良教育大)
- 小西博喜 (京都工繊大)、三野 耕 (兵庫教育大)、白石龍生 (大阪教育大)、左 誠一 (韓国東亜大)、畑 伸弘、森岡郁晴、松本健治、武田真太郎 (和歌山医大衛生)
- 平井富弘 (大阪大医療短大)、大山良徳、吉田浩重 (大阪大健康体育)、左海伸夫、田中章二 (スミヤスポーツ科学センター)、岩井浩一 (大阪大健康体育)、平井初子 (星林高校)、伊熊博文 (和歌山北高校)

座長 大 山 良 徳 (大阪大)

- 長谷川ちゆ子 (西脇市立西脇小)、横尾能範 (神戸大教育)
- 田中佑子、奥田幸子、神長良子、横尾能範 (神戸市教育工学会学校保健情報処理部会)
- 横尾能範 (神戸大教育)、長谷川ちゆ子 (西脇市立西脇小)

座長 山 城 正 之 (神戸大)

- 有居奈保美、青山泰子、奥田幸子、近藤文子、神長良子、田中佑子、橋野静子、松田京子、山館美津子、横尾能範 (神戸市教育工学会学校保健情報処理部会)
- 篠原昭一、森 和 (明治鍼灸大)、川畑愛義、松原ヒサエ (日本生活医研)、瀬戸 進 (大谷大)、三宅義信 (薫英女子短大)

309. 栄養測定における荷重平均法の検討

○平野登志子(華頂短大)、川畑愛義(日本生活医
研)、瀬戸 進(大谷大)、庄司博延、吉村磯次郎
(京都女子大)、日比野朝郎(京都府大)

(11:27~12:06)

座長 左 海 伸 夫(スミヤ・スポーツ科学センター)

310. 小・中学生における子どもの食生活
について

○小川千賀子、荒木佳子、奥本 環、藤井圭以子
(北葛城郡学校給食栄養研究会)
山本公弘(奈良女子大)

311. 食生活状況調査
夕食開始時刻別に観察した子どもの
食生活について

○白井京子、福永きよへ、田村哲江、坂本幸柄
(北葛城郡学校給食栄養研究会)
山本公弘(奈良女子大)

312. 肥満度別に観察した子供の食生活に
ついて

○黒江絹子、池上久實、高仙坊晴江(北葛城郡学
校給食栄養研究会)
山本公弘(奈良女子大)

—午後の部— (G-101教室)

特別講演 (14:00~14:50)

メキシコ・インディオ社会における子供の心の病

宮 西 照 夫(和歌山大学保健管理センター助教授)

座 長 松 岡 勇 二(和歌山大学教育学部教授)

シンポジウム (15:00~16:50)

生活指導と学校保健—いじめや非行をめぐって—

座 長 猪 尾 和 弘(和歌山大学保健管理センター教授)

話題提供者 ① 新谷萬理子(大阪市立集英小学校養護教諭)

② 直川 豊(和歌山県御坊市立御坊中学校教諭)

③ 辰堀 貢(和歌山県立粉河高等学校教諭)

④ 中塚善次郎(鳴門教育大学教授)

懇 親 会 (17:00~18:30)

大学内の食堂 立食パーティー

会費 3,000円

(お誘い合わせの上多数御参加下さい)

近畿学校保健学会総会案内

会則第16条により下記のように学会総会を開催しますので、会員各位の参加を要請します。

近畿学校保健学会会員各位

学 会 幹 事 長

記

1. 日 時 昭和62年6月20日(土) 13:30
2. 場 所 和歌山大学教育学部
3. 議 案
 - (1) 会務報告
 - (2) 昭和61年度学会会計決算について
 - (3) 昭和62年度学会予算案について
 - (4) 名誉会員の選出について
 - (5) 次期(第35回)学会開催地について
 - (6) その他

以 上

昭和62年度会費納入について

第28回近畿学校保健学会総会において学会会則が改正され、昭和57年度より恒久会員制を設けることになりました。当分の間、本会の目的に賛同され会員として会費を納入して頂きますと、年2～3回学会通信及び年次学会の案内をお送り致します。又、昭和62年度年次学会(於和歌山)での研究発表は共同発表者も含めて会員でないとできませんので、会員を希望される方及び発表者(共同発表者も含めて)は昭和62年度会費3,000円を学会事務所まで納入されますようお願い致します。

近畿学校保健学会会則

第1章 総 則

- 第 1 条 本会は近畿学校保健学会と称する。
- 第 2 条 本会は学校保健に関する研究を行い、学校教育に寄与することを目的とする。
- 第 3 条 本会の事務所は幹事長のもとにおく。

第2章 事 業

- 第 4 条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 総会、年次学会の開催
 2. 会誌その他出版物の刊行
 3. 学校保健に関する調査研究
 4. その他本会の目的達成に必要な事業

第3章 会 員

- 第 5 条 会員は本会の目的に賛同し、会費を納入したものである。
- 第 6 条 会員は年次学会、会誌などを通じて研究を発表することができる。また会誌の配布および本会の事業について連絡を受ける。
- 第 7 条 本会には賛助会員および名誉会員をおくことができる。
- 第 8 条 賛助会員は本会の目的を達成するために賛助の意を表し、評議員会の承認を経たもので賛助会費を納めたものとする。
- 第 9 条 名誉会員は学校保健に関し、学識、経験に富み、本会に功労のあったもので、評議員会の推薦にもとづき、総会で承認されたものとする。
- 第 10 条 会員は会費を滞納し、若しくは本会の名誉をけがす行為があったときには評議員会の議決により除名することができる。

第4章 役 員

- 第 11 条 本会に次の役員をおく。
1. 評議員 若干名
 2. 幹 事 若干名（うち1名を幹事長、一部を常任幹事とする）
 3. 監 事 2名
- 第 12 条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。役員は会員より選出されるものとする。
- 第 13 条 役員の選出方法は別に定める。
- 第 14 条 役員の任務を次のように定める。
1. 評議員は評議員会を組織する。
 2. 幹事は幹事会を組織する。常任幹事は会務を処理する。幹事長は学会を代表し、会務を統括する。
 3. 監事は会計を監査する。

第5章 会 議

- 第 15 条 本会の会議は総会、評議員会および幹事会とする。
- 第 16 条 総会は幹事長が毎年 1 回召集し開催する。必要に応じ臨時総会を開催することができる。
- 第 17 条 評議員会は幹事長が召集し、本会の運営に関する重要な事項を審議決定し、総会の承認をうけるものとする。
- 第 18 条 幹事会は幹事長が召集し、評議員会に提案する議題の審議ならびに総会、評議員会から委任された会務を処理する。
- 第 19 条 評議員会および幹事会は構成員の過半数をもって成立する。

第6章 年次学会

- 第 20 条 本会は毎年 1 回年次学会を開催する。
- 第 21 条 年次学会長は会員のうちから評議員会で選出し、総会で承認され、年次学会の運営にあたる。
2. 年次学会長は幹事会に出席することができる。

第7章 会 計

- 第 22 条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもってあてる。
- 第 23 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。
- 第 24 条 本会の収支決算は、監事の監査を受け、評議員会の議を経て総会の承認を得るものとする。

雑 則

- 第 25 条 本会則の変更は総会の決議によるものとする。

附 則

- 第 26 条 会費は年額 3,000 円とする。
- 第 27 条 本会則は、昭和 28 年 6 月 29 日より施行する。
- 昭和 33 年 6 月 13 日
一部改正
- 昭和 39 年 5 月 17 日
一部改正
- 昭和 49 年 9 月 6 日
一部改正
- 昭和 56 年 7 月 9 日
改正
- 昭和 57 年 6 月 8 日
改正